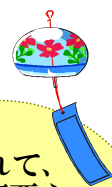




広川町民生委員さんが来訪されました



去る、5月20日、7月22日、広川町民生委員研究会（障害分野）の皆さんが両日にわかれて、「リーベル」へ見学にこられました。初めて見えた方も多く、「リーベル」についての概要や「利用者さんの声」に熱心に聞き入っておられ、民生委員さんより、たくさん感想や意見をいただきましたので、いくつかご紹介いたします。

【質問】

- ★ 障害年金について、何級でどれくらいもらえるのか？年齢の条件はあるのか？
- ★ 民生委員としての接し方や、連絡があった場合、具体的な動き、活動についてききたい。
- ★ 療育手帳の交付があつて、具体的にどのようなフォローや支援があるのでしょうか？

【感想】

- ★ 今日は初めて「リーベル」を訪問しました。利用されている方、スタッフの方の生の声を聞くことができ大変、勉強になりました。
- ★ 三人の方の素晴らしい体験をお聞きし、私自身、親としての子どもに対する気持ちがよくわかりました。



南筑後保健福祉環境事務所からのお知らせ



こころの健康づくり講演会 「睡眠はこころとからだのパロメーター」

講師：久留米大学医学部
教授 内村直尚 先生

日時： 平成23年9月29日（木）
14:00～16:00（受付 13:30～）
場所： 八女市民会館 おりなす八女 小ホール
参加費： 無料



ギャンブル依存症に関する講演会 1) 「ギャンブル依存症について ～知ることから始めよう～」

講師： 桜ヶ丘病院 赤木権利 精神科医師

2) 体験発表「当事者の立場から」

日時： 平成23年9月6日（火）
14:00～16:00（受付 13:30～）
場所： 柳川市立三橋公民館 講義室
参加費： 無料



【お問い合わせ】

南筑後保健福祉環境事務所 健康増進課 精神保健係
電話：0944-72-2176 FAX：0944-74-3295

ご案内



ライオンズクラブ チャリティーバザー

日時：平成23年10月23日（日）

場所：おりなす 八女 小ホール

主催：八女ライオンズクラブ

編集後記

猛暑だった夏も終盤にはいり、朝、夕の風が心地良く感じる頃となりました。みなさん夏の疲れはありませんか？暑さではりつめていた体も、ホッとする時期で、体調が変わりやすい時期です。
私は、農業や洗車活動で日焼けした肌の手入れをしながら、秋にむけた体力を充電中です。体調管理にきをつけてお過ごし下さい。



第20号 八女地区障害者等相談支援センター「リーベル」

平成23年 8月31日

リーベル通信



発行責任者：八女地区障害者等相談支援センター「リーベル」
住所：八女市本村425-9
電話：身体しょうがい・知的しょうがい・しょうがい児 0943-22-2610
精神しょうがい 0943-22-2630



第8回八女地区自立支援協議会

去る、8月25日、第8回八女地区自立支援協議会が開催されました。今回の開催は、2回目の任期満了を迎え、八女市三田村市長より各委員へ委嘱状が交付され、会長に「社会福祉法人 上横山保育会 理事長 上田正勝氏」、副会長に「南筑後保健福祉環境事務所 副所長 井手三郎氏」に再任頂きました。今回からは、八女市・広川町の障害者福祉のさらなる充実を期待し、委員も9名から10名に増員され、各委員からは、事業所の実情と課題をお話ししていただき、「福祉的就労の賃金の課題」「3障害に対応していく従事者の質の確保」「住まいの場の確保と利用に伴う対応の課題」などがあげられ、八女地区で取り組む障害者福祉の課題がさらにクローズアップされました。また、相談支援専門員からも、活動状況報告の中で、稼働してきた（生活支援・就労支援・教育）分科会の報告や沖縄の視察・研修の報告をおこないました。
ここに、八女地区自立支援協議会委員を紹介致します。（敬省略）

	構成	団体等名称	役職名	氏名
会長	障害福祉サービス事業者	社会福祉法人 上横山保育園	理事長	上田正勝
副会長	保健福祉環境事務所	南筑後保健福祉 環境事務所	副所長	井手三郎
委員	医療関係機関	医療法人社団 筑水会	理事長	國芳雅広
委員	障害福祉サービス事業者	社会福祉法人 明和会	専務理事	井上明秀
委員	障害福祉サービス事業者	社会福祉法人 新世会	理事長	川崎和子
委員	障害福祉サービス事業者	社会福祉法人 ハイジ・福祉会	理事長	山口由紀子
委員	雇用関係機関	八女公共職業 安定所	所長	平城正己
委員	障害者関係団体	障害者の明日をつくる会	会長	西原洋文
委員	相談支援事業所	相談支援センター リーベル	センター長	田島ゆかり
委員	市町村代表	八女市	市民福祉部長 福祉事務所長	古賀秀木



八女市長より委嘱状交付



上田会長 あいさつ



新 川崎委員あいさつ



八女地区自立支援協議会： ※第8回開催の詳細については、表紙参照

リーベルネットワーク会議： 次回 10月開催予定

生活支援分科会

5回シリーズで、学習してきた「成年後見制度」もようやく第9回でまとめに入り、総括としてNPO法人 ふくおかネットの 永田啓造さんより再度、講話をしていただきました。当初、「後見人って何？」という素朴な質問から、学習会を重ねるごとに、「後見人は、入院者、施設利用者の保証人について、どこまで有効なの？」「権利擁護と自己決定をどうとらえたらいいの？」など、さらに、掘り下げた質問が飛び交いました。まとめとして、「後見人が必要な方＝孤独モデル、親亡き後の保険としてとらえること」「現在は、要請が多く、市民後見人の育成が必須となってきている」などのお話を、いただきました。この学習会を通して、少しでも「あの人はどうだろうか？今後、どうなるのかな？」という気づきの視点が大切になっていくことを感じました。



永田さんより総括していただきました



事例についてのグループワーク

就労支援分科会



第8回就労支援分科会は、5月に八女作業所にて行いました。この回は、八女作業所の中を見学、主に精神の障害がある方のタオル折りや旗の縫製の作業を見学させていただきました。その後、2グループに分かれ、2つの事例について支援の在り方についてディスカッションしました。精神障害の方への支援をされていない事業所にとっては、より支援の難しさを感じられたようですが、皆さんとても参考になられたようです。その後も、一か月間隔に分科会を開きながら、この分科会の今後の方向性と体制を話し合っているところです。その結果、この分科会の目標を「障害がある人それぞれが、その人らしく仕事（作業）して「八女に住んで、八女で働いてよかった。」と言える『八女モデル』を作ろう！とし、「一般就労部会」と「福祉的就労部会」の2つの部会の設置を決めました。「一般就労部会」は、一般就労を目指す障害者が、より多く一般就労に繋がって定着していくためのシステム作り（支援員のスキルアップや企業啓発）等を、「福祉的就労部会」は、日中活動として仕事（作業）を福祉事業所でされる方が、安定して利用し続け、少しでも工賃アップにつながる取り組み等を、其々グループワークとして考えてやっていくこととなりました。それと別に全体会を4カ月に一回のペースで行うこととし、これは今まで通りの各事業所の視察研修と各専門部会の報告会と全体討議としたいこととなりました。



部会を分けて討議しました



作業所見学

教育分科会



8月2日に「第2回特別支援教育コーディネーターとの意見交換会」を開催しました。今回は、福岡県教育庁教育振興部 義務教育課 新設特別支援学校準備室 室長 矢野 井史 氏を講師にお招きし、「教育」と「福祉」の連携についてご講演いただきました。その後、グループに分かれ、①生活全般での支援と連携、②就労に向けた取り組みと福祉との連携、③教育と福祉の連携について協議しました。八女地区の小・中・高校の先生が集まり、開催したこの会。会終了後のアンケートでは、小学校の先生より、高校の先生のお話が聞けてよかったという意見もありました。この会が、リーベルと先生方のネットワークはもちろん、先生方同士でも学校種別に関わらず、顔が見えるネットワーク作りの一助になればと思います。



八女市スクールソーシャルワーカー（高口女史）にも参加いただきました。

講師：福岡県教育庁教育振興部 義務教育課 新設特別支援学校準備室 室長 矢野 井史 氏



グループワークでもたくさんの意見交換をおこないました。

